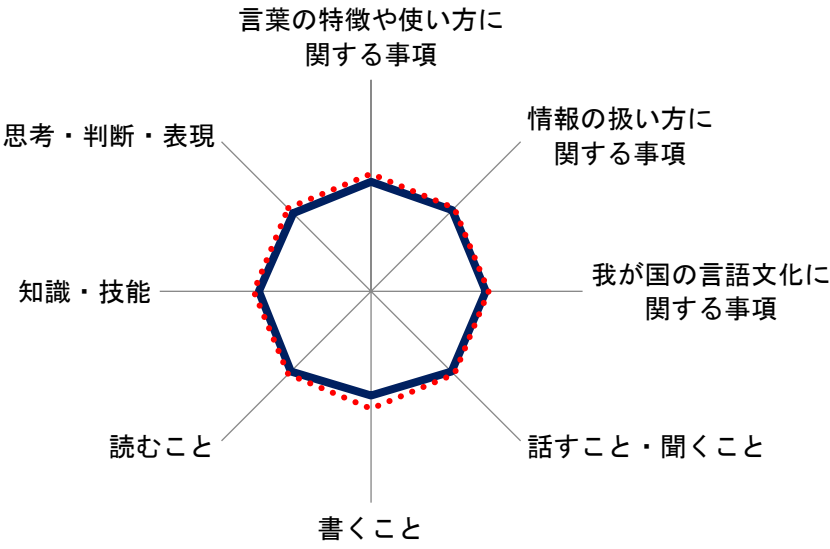


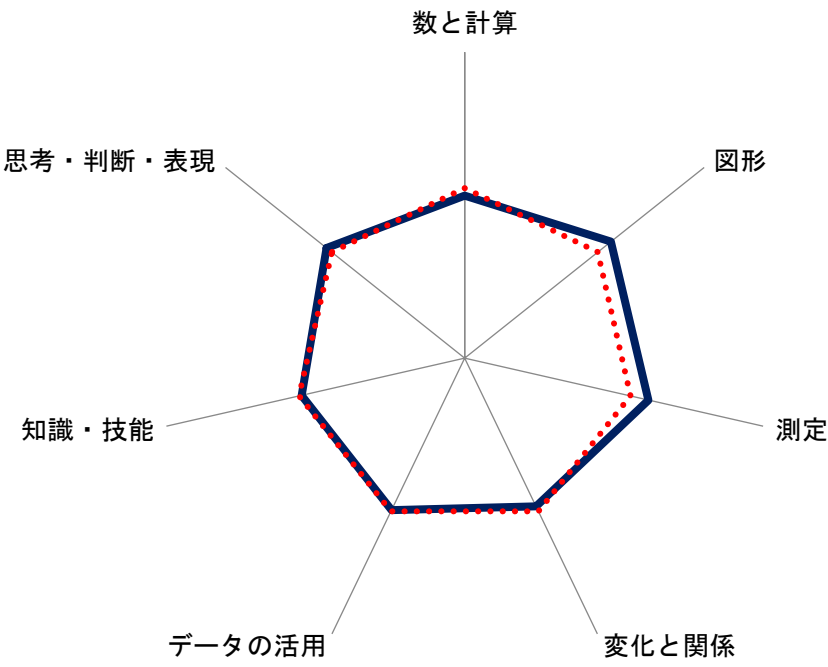
○ 教科に関する調査 (全国の平均正答率との差)

【国語】

— 県平均
..... 全国平均

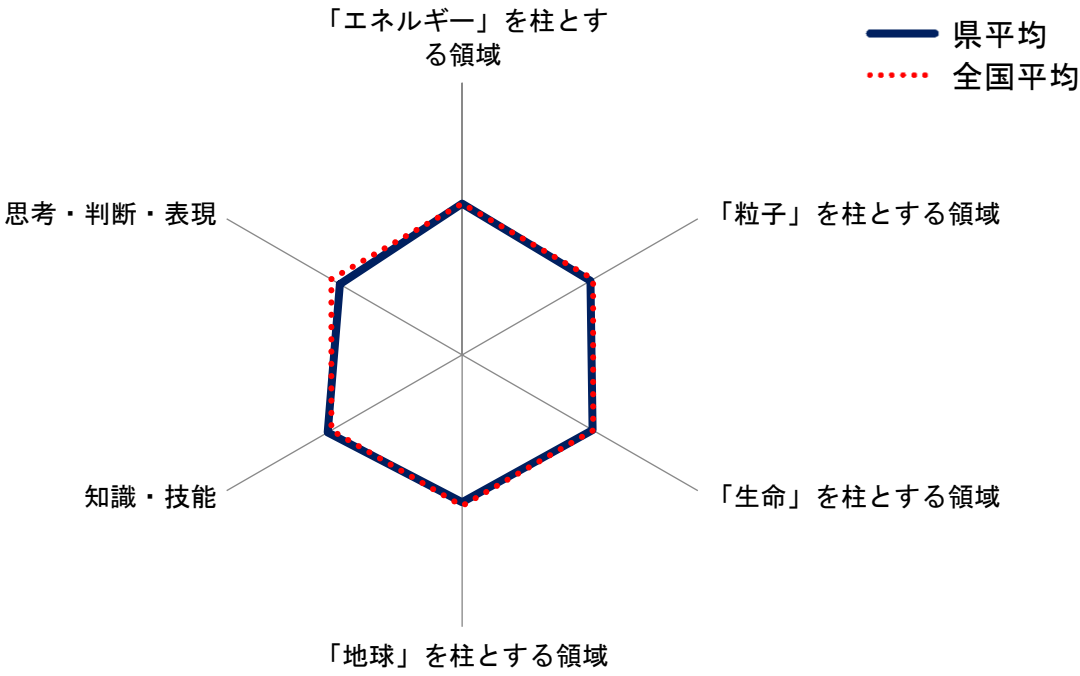


【算数】

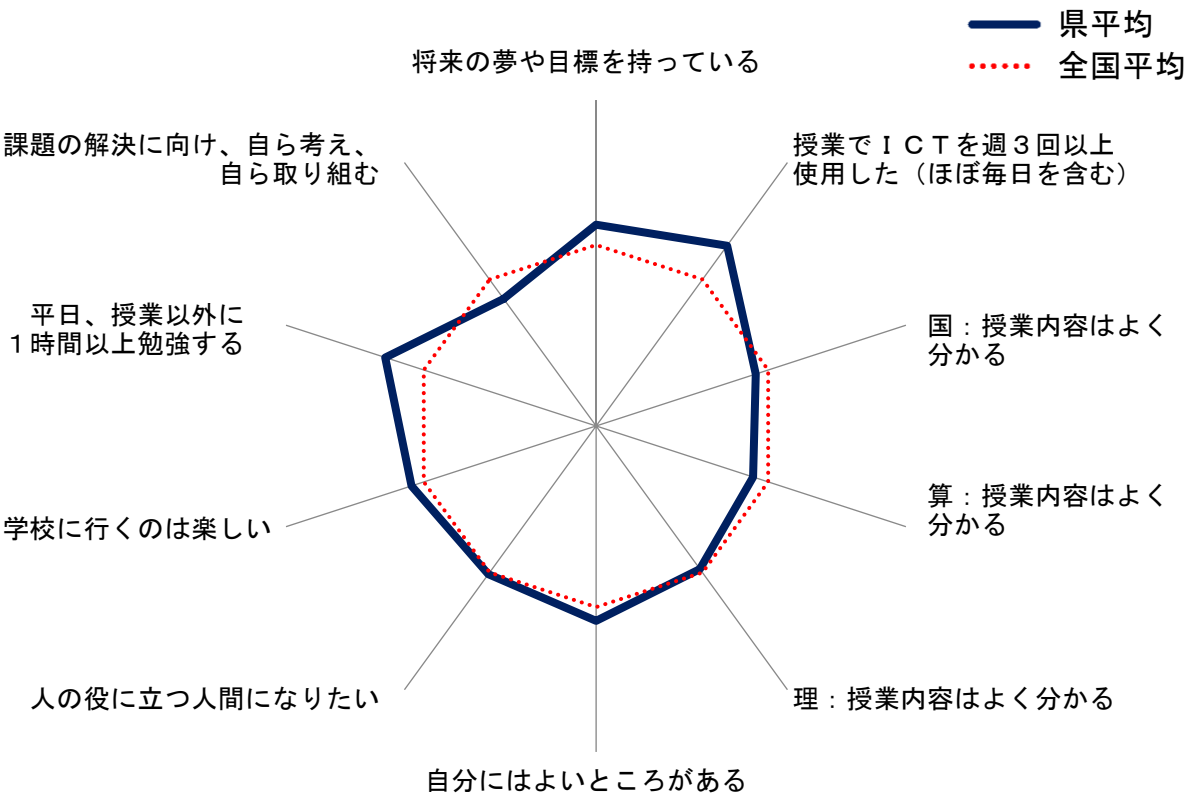


○ 教科に関する調査 (全国の平均正答率との差)

【理科】



○ 児童質問調査 (全国の平均回答率との差：肯定的な回答)



○ 結果の分析と改善策

教科に関する調査では、算数は全ての項目で全国平均とほぼ同じかやや上回っており、特に「図形」「測定」の項目に良好な結果が見られる。一方、国語の「書くこと」、国語と理科の「思考・判断・表現」の項目に課題が見られる。今後も更なる授業改善を推進するとともに、目的や意図に応じて必要な情報を正しく読み取る力や、見いだした事実や自分の考えを適切に表現する力の育成を目指し、言語活動の充実を図ることで、学校教育の質の保証・向上を目指していく必要がある。

児童質問調査では、「将来の夢や目標を持っている」「学校に行くのは楽しい」の項目が昨年度に引き続き全国平均を上回っており、良好な結果が続いている。また「授業でICTを週3回以上使用した」「平日、授業以外に1時間以上勉強する」の項目も、全国平均を大きく上回っており、極めて良好な結果である。一方、各教科の「授業内容はよく分かる」「課題の解決に向け、自ら考え、自ら取り組む」の項目は全国平均を下回っており、昨年度から引き続き課題となっている。今後も、子供たちが主体的に学習に取り組み、児童にとって「分かる」「できる」を実感できる授業づくりに向けて、学習のねらいや見通しを明確にするとともに、ICTの効果的な活用や振り返りの充実を図った更なる授業改善が必要である。